

囲碁入門講座通信 令和3年 第25号



報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に囲碁用語を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

囲碁用語 攻め合い(コウ/手数を縮める)

ここでは、攻め合いがコウになるケースと、ダメの数では一手負けでも、相手の手数を縮めて攻め合いに勝てるケースについて解説します。

手数を縮める手筋



問題図(黒番)

黒が最善を尽くすと、結果はどうなるでしょうか？

この問題も単純なダメ詰めでは黒が攻め合いに勝てない形をしています。見出しにもあるように白の手数を縮めるわけですが、1手目を間違えたらもう勝てません。ヒントは「眼あり眼なし」にさせないこと。
...



失敗図

黒1(または3)と外ダメから打つのは、すかさず白2ツギを打たれて「眼あり眼なし」となり、もう攻め合いには勝てません。白4の後、黒aと打つても「オス手なし」です。白はbと打つまでもなく、黒石が取れています。



手数を縮める黒1 ホウリコミ

黒1のホウリコミが正解です。白2子が取られると、攻め合っている黒石が外とつながりますから、白aと取る一手。黒はさらに黒bとアタリを決めます。

初級者には見づらいので次の図に進みます。

手数を縮める黒1 ホウリコミ

前図黒bのアテに白1とついただとこで、ダメの数を見てください。白の外ダメは1つなのに黒の外ダメは2つあります。内ダメが2つ空いていますが、黒の手番なので勝てそうです。

黒2、白3となったとき、黒は4と内ダメを詰めて白石を先にアタリにすることができました。



前図、黒1の手筋が、考える前にぱっと目に浮かぶようになれば、

攻め合いや死活に強くなり、碁がますます面白くなるでしょう。

問題は、初級囲碁講座(無料講座)より引用しました。次号は2月10日発行予定です